

ジンクプライマーR

エポキシ樹脂系ジンクリッチプライマー「ジンクプライマーR」は、塗膜中の亜鉛が電気化学的な防食作用を発揮して、鋼材を防食する優れた下塗り塗料です。

長期耐久性が要求される場合や厳しい腐食環境下で、「ジンクプライマーR」の上に、下塗り(エポキシ樹脂系塗料)や上塗り(ポリウレタン樹脂塗料、ふっ素樹脂塗料)を組み合わせることで長期の防食性を維持することができます。

特長

- 標準タイプ(標準膜厚15~20 μm)のショッププライマーです。
- プラスト面に対する付着性がよく、6か月の暴露防食性を有します。
- スプレー塗装作業性に優れています。
- 速乾性です
- JIS K5552 2種認証品です。

用途

ショッププライマー

対象被塗物

鋼構造物全般

品質

項目	性能	品質
容器の中での状態	合格	粉は微小で一様な粉末であるものとする 液及びペーストは、かき混ぜたとき堅い塊がなくて一様になるものとする
塗装作業性	合格	支障がない
乾燥時間 h	合格	1以内
塗膜の外観	合格	正常である
ポットライフ h	合格	5以上
耐おり落下性	合格	割れ及び剥がれがない
耐塩水噴霧性	合格	さび、割れ、剥がれ及び膨れがない
混合塗料中の加熱残分 %	合格	75以上
混合塗料中の金属亜鉛 %	合格	70以上
屋外暴露耐候性	合格	さび、割れ、剥がれ及び膨れがない

データガイド

適正塗装方法		エアレススプレー			
標準膜厚・標準使用量		15 μm -200g/ m^2			
塗装環境条件		温度	5~40 $^{\circ}\text{C}$	湿度	85%RH
希釈シンナー		ジンクプライマースプレー用シンナー			
塗装適正粘度		15~20秒 (IHSカップ)			
		5 $^{\circ}\text{C}$	20 $^{\circ}\text{C}$	30 $^{\circ}\text{C}$	40 $^{\circ}\text{C}$
使用可能時間		20時間	12時間	8時間	6時間
乾燥時間	指触	20分	7分	5分	3分
	歩行可能	2時間	30分	25分	20分
塗装間隔	最小	1日	7日	5日	3日
	最大	6か月	6か月	6か月	6か月
		注：塗装間隔において、別途、基準が定められている場合は基準を厳守してください。			
適正希釈率	エアレス	0~10%	0~10%	0~10%	0~10%

製品構成

品名	容量			備考
	セット	主剤	硬化剤	
ジンクプライマーR	15kg	13.5kg	1.5kg	樹脂系 エポキシ樹脂 混合比(重量比) 主剤：硬化剤 = 90：10 色相 グレー
ジンクプライマースプレー用シンナー	16L、4L			有機ジンク用シンナー

塗装仕様例

工程	塗料名	標準膜厚 (μm)	塗装方法	標準使用量 ($\text{g}/\text{m}^2/\text{回}$)	希釈シンナー (希釈率wt%)	塗装間隔 (20°C)	塗装区分
素地調整	ブラスト処理 (ISO Sa 2 1/2) 以上					工場	
プライマー	ジンクプライマー-R	15	スプレー	200	ジンクプライマースプレー用シンナー 5~10		4時間以内
第1層	ネオゴーセー#2300PS	120	スプレー	540	二液形ネオゴーセーシンナー 10~15		1日~6か月
第2層	NYポリンK上塗HB	50	スプレー	180	NYポリンK上塗用シンナー 5~10		1日~10日

施工上の注意事項

1. 素地調整

- ジンクプライマー-Rは直接素地の鉄面に接触させることによって、その防食作用を発揮させるため、十分な素地調整が必要です。
- 鋼材に油、グリースなどの付着物がある場合は、あらかじめ溶剤などで洗浄し、除去してください。
- 除錆度はISO Sa 2 1/2以上とし、ブラスト後は埃などの付着物をバキュームその他で完全に除去してから速やかに塗装してください。

2. 塗料の調合

- ジンクプライマー-Rは亜鉛末が既調合されています。主剤を十分に攪拌した後に硬化剤を混合し、よく攪拌してからご使用ください。
- 主剤/硬化剤を均一に調合した後は、60~80メッシュ程度の金網でろ過してください。
- 調合、ろ過後も亜鉛が沈殿しやすいため、塗装中は塗料を攪拌してください。

3. エアレス塗装

- 原則として、エアレススプレーを使用することとし、はけ塗り塗装は、先行塗装程度にとどめてください。

[エアレススプレーの使用例]

圧縮比	30 : 1
二次圧力	10~15MPa
推奨チップサイズ	(グラコ)619・621

4. 塗装環境条件

高温時にはスプレーダストが発生しやすくなります。このような場合には乾燥の遅いシンナーをご使用ください。

5. 塗装後に発生した白さびの処理

塗装部材を保管中に滞水などの水分の影響を多く受ける場合には白さびが生じやすくなります。白さびが発生した場合には、次工程前にマジロン等で表面の白さびを除去してください。

6. 油性、フタル酸系塗料の塗装

ジンクプライマー-Rの上に、油性、フタル酸系塗料を塗装した場合、はがれるおそれがあります。エポキシ系塗料を選定してください。

注意事項

■調合

- 塗料取り扱い扱いは、屋外または換気の良い場所で行ってください。
- 火気厳禁です。
- 静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。
- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 塗料が皮膚に接触することで感作性を引き起こすことがあります。
- 塗料の取り扱い時は、必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など）を使用して、塗料が身体に付着しないよう注意してください。
- 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものは、その日のうちに使用してください。
- 希釈剤は指定の希釈剤を使用し、希釈量は規定量内でご使用ください。

■塗装

- 気温および被塗面温度が 5°C 以下、湿度85%RH以上の場合は塗装を避けてください。乾燥遅延、付着不良、外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
- 被塗物の表面温度が 50°C 以上の場合は塗装を避けてください。
- 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装を避けてください。
- 強風、砂埃が多いときは塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが、塗装中や乾燥後に付着すると塗膜性能低下や外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 塗装時は、必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など）を着用し、身体に付着しないよう注意してください。皮膚が露出する箇所には保護クリームを塗ってください。
- 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、十分に換気を行い、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 塗装中および塗膜乾燥中は、換気を十分に行ってください。
- 屋外での塗装において、建物の換気口、空気取入れ口などから、塗料や揮発した溶剤が室内に入り込まないように適切な処置をしてください。

- 主剤/硬化剤の調合後は、直ちに塗装し可使時間内に使用してください。
- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅が生じる場合があります。あらかじめ試し塗りにより確認してください。
- 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを行ってください。
- 塗装器具の洗浄には、二液形ネオゴーセーシンナーまたはラッカーシンナーをご使用ください。

■緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布（ウエス）などで拭き取ってください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡、粉末消火器を用いてください。

■廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。（河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。）

■保管

- 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 容器はつり上げないでください。

- ※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。
- ※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
- ※ 本来の用途以外に使用しないでください。
- ※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



くらしゆたかにあざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 <https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。